

令和6年4月15日（月） 全校朝会 校長の話

「一葉桜まつりでの金管バンドクラブの活躍」

始業式の日、「千束小学校の良さをもっともっと見つけていきます」とお話ししました。それから、一週間がすぎ、たくさんの良さ、素敵さをみつけることができました。

その中で、金管バンドクラブの活躍を、今日は紹介します。

13日の土曜日、富士小学校の隣の富士公園で、一葉桜まつりが行なわれました。

そこで、金管バンドクラブのみなさんが、たくさんのお客さんの前で、素敵な演奏をしていました。

金管バンドクラブのみなさんは、この日のために、春休みの間も学校に来て練習をしていました。学校が始まったら、毎日、朝練習もしました。演奏も素晴らしかったですが、この発表のために、努力を積み重ねていることも、素晴らしいですね。

また、この日は、「こんにちはトランペット」というファンファーレの後、私たちがとても大切にしている中山晋平先生が作曲した千束小学校の校歌を演奏し、最後に、「アンパンマンマーチ」を演奏しました。アンパンマンマーチは、千束幼稚園の園児たちが、一緒に踊ってくれました。

「千束ファミリー」と言われていますが、このように、すぐに一緒にできるのも、千束小学校の良さですね。幼稚園の子たちは、はじめは大きい楽器の音に驚いていましたが、本番では、お客さんの方を向いて、かわいく踊っていましたよ。



さて、この一葉桜まつりの「一葉桜」は、どんな桜なのか、知っていますか。学校の近くの、「一葉桜・小松橋通り」には、たくさん、植えられています



ね。学校にも、ありますよ。この学校の「一葉桜」は今から19年前、千束小学校の100周年を記念して植えられました。立派に育っていますね。

この、一葉桜ですが、花の真ん中のめしべが緑色で、花の中に一枚の葉があるように見えるから、「一葉桜」という名前がついたそうです。また、たくさんの方が花見をする「ソメイヨシノ」が散ったころに花が咲き始めるということから、一葉桜がある千束小学校では、長い時間、桜の花を楽しむことができます。これも、千束小学校の良さですね。



これで、今日の校長先生のお話は終わりますが、これからも、たくさんの千束小学校の良さをみつけていきます。